

「建築と社会」4月号表紙  
 ■作品名「EARTHTECTURE-SUBI」 ■制作 プラスワン ■使用ハード HP9000/370 TSRX, NEC PC9801RX2 ■使用ソフト 大阪大学笹田研究室開発のソフトおよび自社製 ■高松 伸氏設計の、来年竣工される地下4層、地上0層の商業ビルである。建物の事前PRを主目的としたアニメーション作成に用いた三次元データを、さまざまな視点から出力した。ワークステーションのローカル光源機能を駆使して雰囲気を高めている。

■特集予告

- 5月号/まちづくりと法
- 6月号/博覧会とまちづくり
- 7月号/都市環境創造と設備
- 8月号/建築とアート

会 長	佐野正一	市川 宏
副会長	足立 孝	鴻池藤一
編集委員長 (平成元年度)	金井 弘次	小島 雄
編集理事	城 惠一	須賀 好富
編集委員	竹中 鍊一	長谷部 明郎
編集委員 長	長谷部 明郎	* 上田 信也
編集顧問	東 孝光	編集委員
★計画系分科会	☆計画系	角島 健二
河端 秀直	小浦 久子	鈴木 克彦
田中 直人	平岡 博	山尾 弘子
吉村 英祐	☆建築計画系	上杉 敏史
加藤 晃規	北村 潤	嶋田 聖二
庄野 利博	西川 純一	前川 治彦
牧野由美子	三宅 淳	* 森田 晴美
山中 惠子	山本 匡	☆インテリア住宅
石倉 健彦	一瀬 満雄	大塚 慶子
加藤 力	神谷 剛	* 北浦 かのる
北山 喜哲	駒田 泰彦	増地 秀夫
★構造分科会	和泉 一義	清 孝好
馬場 研介	○福山 国夫	和田 勉
○印 副委員長と幹事	* 印 同代行	

印刷 平成元年4月20日  
 発行 平成元年4月25日  
 発行人 社団法人日本建築協会  
 発行所 社団法人日本建築協会  
 大阪市北区梅田1-1-3-2100  
 電 06-348-0635  
 振替口座 大阪1-39975  
 印刷所 日本写植印刷株式会社  
 電 06-606-1111(代)  
 青葉印刷株式会社  
 電 06-351-5428(代)  
 定 価 980円(消費税・送料共)

通巻  
**4805**

会告

作品作風

Gallery

スケッチブック

エッセイ

Wシリーズ

レポート

書評

新建材紹介コーナー

法令コーナー

協会だより

GBRCニュース

建築の眼

特集

総論

各論

データシート

構造の頁168

設備の頁170

INFORMATION

月報

1917創刊 建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY  
**1989 CONTENTS**  
 JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN  
 70集

特集●省力化のための材料・工法

SPECIAL FEATURE ON THE MATERIAL AND CONSTRUCTION METHOD FOR LABORSAVING

工高生デザインコンクール募集規定「リゾート地に建つ「ペンション」」。アップリカビルー設計者：丹下健三都市・設計研究所丹下憲孝・中川巖夫氏に聞く。出版委員会企画「プロのノウハウ」講座シリーズ(第1回)一構造計画と経済設計一。水無瀬神宮の燈心亭を訪ねる会。テニスを楽しむ会。生涯能力開発給付金制度活用のお知らせ。定時評議員会決議お知らせ一平成元年度会長・副会長・理事・監事。同収支予算一。社団法人日本建築協会平成元年度事業計画。図書室だより。————— 1

長野県伊那文化会館————— 設計監理：大建設————— 8  
 施工：戸田・ヤマウラ・宮下建設共同企業体

OBPキャスルタワー————— 設計監理：日建設————— 12  
 施工：竹中工務店・鹿島建設・熊谷組・住友建設

ASHIYA 街づくり(小林恒・小林恒建築研究所)／松田善弘————— 16  
 最近竣工した新建築9点(No.2214~2222)————— 18  
 芭蕉一不易流行の説一／浦辺鎮太郎————— 19

WELCOMING—建築およびその周辺の女性達—  
 山本奈津子／三ツ井美由紀／高嶋直子、司会：佐伯由紀子————— 24  
 アジアの諸民族と住まい／川島宙次————— 26  
 様々な感想—『表現主義の建築』(W.ペーント)／太田隆信————— 31  
 防水材「ボルクレイ・パネル」／松本章————— 33  
 複合空間基盤施設整備事業の創設／中野義裕————— 34  
 平成元年建築科優秀卒業生表彰————— 35  
 自然風の観測システム————— 37  
 同居と近居／住田昌二。六つの風土とともに一その4／松田泰典。  
 春のたり／中嶋龍彦。外国人労働者について／入江恂一————— 38

**省力化のための材料・工法**—————  
 省力化の必要性と建設労働————— 嘉納 成男————— 40  
 省力化のための材料・工法一覧————— 編集委員会作成————— 45  
 ……コンクリート工事、型枠工事、鉄筋工事、鉄骨工事および耐火被覆  
 工事、仕上げ工事…  
 省力化のための材料・工法データシート————— 55  
 ……デンシトップ／ツインクリートN／ARV-SYSTEM／ぴかりコン&キツ  
 ツキ／アキレスカタダン／AS式地中梁型枠工法／ホーロスバ／HATO-  
 COT／日鐵Eデッキフロア／ネジテツコン継手／パワーレン&パワ  
 ーリング／TSKフープ／NISまごって／セラタイカ2号／ベースパッ  
 ク柱脚工法／パラボードシステム／アスファルト防水冷熱工法／マ  
 ックストン／DADシステム／SA工法

ハイブリッド構造アーケードの構造設計／久徳敏治・岡本達雄————— 75  
 生ゴミの凍結／恩地善之助————— 76  
 平和資料館(仮称)公開設計競技入選作品紹介。神戸・天津大学設計展開催。安藤忠  
 雄氏と現場を訪ねる。「牧川明生展」-INAXギャラリー。インターアクション89-9  
 月にパーミングムで開催。原広司・講演会と対談————— 35、77  
 日本建築協会月間の動き(平成元年2月分)————— 79